

クラブは今!!

1990年度前期活動報告

陸上競技部

- 第56回東海学生陸上競技対抗選手権大会
 - 400m 2位
 - 砲丸投げ 4位
 - 円盤投げ 5位
 - やり投げ 5位

団体6位(男子25校参加)

ゴルフ部

- 中日杯争奪中部学生ゴルフ選手権競技大会
 - 個人 2位
- 中部学生ゴルフ春季学校リーグ戦
 - 団体 2部 優勝 一部昇格

卓球部

- 東海学生卓球新人大会
- 東海学生卓球春季リーグ戦一部 6位

ウエイトトレーニング部

- 全日本学生パワーリフティング選手権大会
 - 67.5kg級 準優勝
 - 82.5kg級 10位
- 中部学生パワーリフティング選手権大会
 - 67.5kg級 優勝
 - (ベンチプレス中部学生記録樹立)
 - 82.5kg級 3位
 - 56kg級 5位

バスケットボール部

- 第28回東海学生バスケットボール大会
 - ベスト8 進出

ヨット部

- 中部私立大学ヨット選手権大会
 - 470級 総合4位

空手道部

- 春季東海学生選手権大会
 - 個人 ベスト8位

剣道部

- 第37回東海学生剣道選手権大会
 - 個人 8位(全日本出場)
- 第38回全日本学生剣道選手権大会
 - 個人 16位
- 東海学生剣道新人戦大会 団体 3位

軟式野球部

- 春季東海学生軟式野球大学対抗リーグ戦大会
 - 1部 5位
- 愛知学生軟式野球大学対抗リーグ戦大会
 - 1部 5位

自動車部

- 全中部学生安全運転競技選手権大会
 - 男子 団体戦 総合3位
 - 女子 小型乗用の部 個人 5位
 - 普通乗用の部 個人 3位

バレー部

- 東海リーグ春季大会
 - 3部リーグ 優勝 2部昇格

少林寺拳法部

- 第26回東海学生少林寺拳法大会 4位

硬式野球部

- 春季リーグ戦 2部 優勝

OB短信

この人 この道

伝統に生きる

濱島正融(1980年卒)

有松絞りが誕生するのは今から400年前に遡る。藩の保護を受け、着実に発展し、京都の鹿の子絞りと並びわが国の二大絞りと呼ばれる様になり、日本の伝統工芸として指定を受けることになる。

濱島家の祖父は伝統工芸士の18人のうち1人に数えられ、正融さんも7代目として継業を継がれる道を選択されたのである。

彼は製造の傍ら、販売部門にも力を注がれ濱島工芸という会社を設立。東京はじめ各地へ出張され多忙な毎日を送られている。

八月のシーズン明けまで好きなゴルフも自重気味との事。

名古屋の貴重な伝統工芸の灯をOBの一人としていつまでも守り続けて頂きたい。

海に生きる

小林茂則(1983年卒)

名古屋から南へ200km、志摩半島の先端に、太平洋を眼下に大王崎灯台が白亜の姿で行んでいる。そんな環境の元で彼は高校時代ま

で過したのである。大学在学中は野球一筋に名捕手として活躍。卒業と同時に父親の後を継いで二代目として真珠の養殖に従事することになる。

彼の手掛ける真珠は年間8万個、そのうち市場へ出回るのは三分の一。主に中玉を装飾用に出荷されること。

今年の出来ばえは、天候不順が影響し、なかなか厳しい状況が予想され、冬場の出荷時期まで忙しく土、日曜もなかなか暇がとれず、根気と体力が勝負との事。

野球で培った精神力で今後も頑張って頂きたいものである。

で過したのである。大学在学中は野球一筋に名捕手として活躍。卒業と同時に父親の後を継いで二代目として真珠の養殖に従事することになる。

彼の手掛ける真珠は年間8万個、そのうち市場へ出回るのは三分の一。主に中玉を装飾用に出荷されること。

今年の出来ばえは、天候不順が影響し、なかなか厳しい状況が予想され、冬場の出荷時期まで忙しく土、日曜もなかなか暇がとれず、根気と体力が勝負との事。

野球で培った精神力で今後も頑張って頂きたいものである。

ネッド・ルイス氏来学、昔の仲間と旧交を温める!!

今夏アメリカから第一回交換留学生であったルイス氏が来日。当時のNGU同窓生たちと旧交を温めました。氏は本学で一年間留学した後、文部省の国費留学生として京都大学・大学院で学び、現在はアラスカ・アンカレッジ市で高校教師をしています(Bilingual Education)。

氏はこの20年来継続して日本語を勉強し、今では専門書もスラスラ日本語で読みます。皆さん、外国語学習はネバーギブアップ!

で過したのである。大学在学中は野球一筋に名捕手として活躍。卒業と同時に父親の後を継いで二代目として真珠の養殖に従事することになる。

彼の手掛ける真珠は年間8万個、そのうち市場へ出回るのは三分の一。主に中玉を装飾用に出荷されること。

今年の出来ばえは、天候不順が影響し、なかなか厳しい状況が予想され、冬場の出荷時期まで忙しく土、日曜もなかなか暇がとれず、根気と体力が勝負との事。

野球で培った精神力で今後も頑張って頂きたいものである。

—本学卒業生母校の教員となる!!

小松 照幸(1969年卒)

(1968年アラスカメソジスト大学への交換留学生)氏は15年間、日米教育委員会(日米両国政府によるフルブライト奨学金財団)でシニア・カウンセラーとして勤めたのち、1988年からNGU国際交流の専門担当教員(講師)として母校へもどりまし。

来学した留学生が学ぶ「留学生別科」の責任者です。「日本文化コース」の担当科目は「現代日本の社会問題」、英語で教えています。

で過したのである。大学在学中は野球一筋に名捕手として活躍。卒業と同時に父親の後を継いで二代目として真珠の養殖に従事することになる。

彼の手掛ける真珠は年間8万個、そのうち市場へ出回るのは三分の一。主に中玉を装飾用に出荷されること。

今年の出来ばえは、天候不順が影響し、なかなか厳しい状況が予想され、冬場の出荷時期まで忙しく土、日曜もなかなか暇がとれず、根気と体力が勝負との事。

野球で培った精神力で今後も頑張って頂きたいものである。

諸証明書の発行申込み方法

郵送の場合は氏名・生年月日・学部学科・卒業年度・送付先住所・記憶があれば学籍番号を明記のうえ発行手数料に郵送料を加算した料金(切手可)を同封して教務課へ申込みして下さい。

成績証明書 (和文) 3000円 (英文) 2000円

卒業証明書 (英文) 3000円 (和文) 2000円

その他についてはお問い合わせ下さい。

なお、教務課の窓口にお越しの場合は、英文の証明書を除き即時発行ができます。

☆お急ぎの方には、同窓会事務室にて発行申請の代行をいたしますのでお問い合わせ下さい。

林順一先生の思い出

大学4年になり、就職のシーズンを迎え

私は東京の会社訪問を計画しました。自分なりに考えた会社の本社に就職試験を受験させてもらえる様申し込みに行ったのです。この事をゼミ教授である林先生に相談したところ心よく自宅を宿舍として使用する様にと言われました。私は東京に知りあいなくとも不安でしたから大変助かりました。約一週間の間私を心よく迎えて下さった先生のご家族の方々ととりわけ奥様には食事から身の廻りまでとても良くしていただきました。私が現在の会社に就職できたのも林先生のアドバイスがあったからです。

林先生のおつきあいは卒業してからも毎年開かれるゼミOB会やゴルフ大会など楽しく有意義なものでした。昨年東京女子医大にお見舞した時は、お話はできませんでした。先生とは定年後もOB会などでご指導いただく約束をしていました。亡くなられた今再びお会いする願いは叶えられませんが、先生に教えられた事を忘れずこれからも一生懸命頑張ろうと思っております。先生の冥福を心からお祈りいたします。

凸版印刷株式会社 伊藤博義(1970年卒)

で過したのである。大学在学中は野球一筋に名捕手として活躍。卒業と同時に父親の後を継いで二代目として真珠の養殖に従事することになる。

彼の手掛ける真珠は年間8万個、そのうち市場へ出回るのは三分の一。主に中玉を装飾用に出荷されること。

今年の出来ばえは、天候不順が影響し、なかなか厳しい状況が予想され、冬場の出荷時期まで忙しく土、日曜もなかなか暇がとれず、根気と体力が勝負との事。

野球で培った精神力で今後も頑張って頂きたいものである。

物故者 (担当科目)	逝去年月日 (敬称略)
石井 猪熊(統計学)	1986.1.24
石川 元助(自然科学概論)	1981.12.13
太田 哲三(会計学)	1970.7.4
北川 一雄(国際経済論)	1983.9.16
小堀 勉(教育原理)	1980.11.13
小宮 孝(経済原論)	1975.11.16
後藤 宏行(社会学)	1989.1.27
島本 英夫(商法)	1972.12.3
勝呂 弘(保険論)	1985.5.28
高橋 真三(経済法)	1972.8.10
田中 金司(金融論)	1985.8.25
長沢 徹(化学)	1982.2.9
野村寅三郎(交通論)	1985.1.22
林 順一(会计学)	1989.9.7
久重福三郎(中国经济論)	1968.7.9
折川 正三(商学総論)	1986.12.3
福田敬太郎(商学総論)	1986.12.29
伏見 繁一(英語)	1986.12.31
穂積 文雄(社会政策論)	1979.11.26
本田 実(会計学)	1970.10.12
松下周太郎(財政学)	1985.2.8
三戸 雄一(英語)	1988.2.15
山崎 治夫(宗教学)	1986.4.7
山田憲太郎(東西交通史)	1988.2.13
鷺見 寿久(日本文学)	1981.6.25